

# 生物分類学から超生物学へ

— 「いせのうみ」に見る生物分類学の新展開—

渡部 元

三重外湾漁業協同組合 アクアショップ 夢市場…ドルフィン  
新規事業調査員

2019年 1月27日(日)  
茅ヶ崎市勤労市民会館

# 本日の講演内容

- 第一部：  
講演者来歴に見る「生物分類学から超生物学」への転換
- 第二部：  
超生物学から俯瞰した生物分類学の新たな姿
- 第三部：  
地域振興と、新規科学技術・技術基盤としての超生物学

# 第一部： 講演者来歴に見る「生物分類学から超生物学」への転換

- 小学校時代から続く酒井 恒博士からの影響
- 漁業者からの思想的影響、特に「みなし物権としての漁業権」
- 数理論理学への関心、システム論的社会学への関与
- リベラルアーツから生活科学への展開に対する関心

## 小学生時代から続く酒井 恒博士からの影響 -1

- 酒井 恒理学博士（京都帝国大学）（1903-1986、神奈川県生）
- 日本甲殻類学会への参加、神奈川県沿岸での深海生物調査
- 学会を揺るがした蟹類水彩画著作権侵害事件
- 生物分類体系構築の意義と社会的影響への関心

## 小学生時代から続く酒井 恒博士からの影響 -2



生物個体の何を見て、どう判断するのが正しい生物分類学か？

## 小学生時代から続く酒井 恒博士からの影響 -3

- 「一つとして同じ姿をした蟹はいない」、どう名付けるか？
- 国際動物命名規約と著作権法による拘束、禁則としての詭弁
- 結果として進化を叙述する分類体系の構成こそ、究極のゴール
- 応用科学、産業転用に耐える頑健性、かつ柔軟性を持つ体系

## 漁業者からの思想的影響、特に「みなし物権としての漁業権」 -1

- 「みなし物権」とは何か？、採捕行為への法の網かけ
- 漁村集落と海との関係、クラウドと「体：たい」の関係
- 数理論理構造としての我が国の漁業法体系
- 抽象化された意味での「海」、その代表たる「いせのうみ」

## 漁業者からの思想的影響、特に「みなし物権としての漁業権」 -2

- 「実在的総合人：Die Genossenschaft」としての漁村
- 各地の漁村でそれぞれに異なる「思想としての漁業権」
- 「行政上の特許」か、「権利制限としての許可」か？
- 「情報商品」としての「おさかな」



## 数理論理学への関心、システム論的社会学への関与

- 潜水船乗船に関連した、フロイト・ラカンの精神分析への関与
- 「白馬論」、「メタ科学」への深い関心、詭弁の数理論理構造
- 海洋基本法制定事務局に在籍、オートポイエーシス理論の応用
- ライフサイエンスにおけるゲノム思想、データベースへの関与
- アクアショップにおけるデータベースの運用、超生物学の提案

## リベラルアーツから生活科学への展開に対する関心

- 西洋、東洋文化双方での生物分類学の理論と実際
- 政治思想にとどまらない、生活思想としての「分類」
- 「仕分け」と「分類」、その大きな違いとは？
- 社会を俯瞰するエクメノロジーとしての「生活科学」

## 第二部：

### 超生物学から俯瞰した生物分類学の新たな姿

- 哺乳類の一種としての *Homo sapiens*
- 漁村の「生物学の形式的体系」とそれを解析する「超生物学」
- 自治体合併や組織の分割が多発する集落でのケーススタディー
- 地域の象徴を新たに選ぶ作業への積極参加
- 「いせのうみ」を生活空間にする南伊勢町の選択

# 哺乳類の一種としての *Homo sapiens*

- 純然たる生物学から見た「ヒト」、「人間」との違い
- 自然史的な観点と対極の、科学技術的な観点から見た「ヒト」
- 極限環境、異常環境にて健康長寿を保つ「科学技術」
- 「ヒト個体」と「実在的総合人」の数理論理的関係とは？

# 漁村の「生物学の形式的体系」とそれを解析する 「超生物学」

- 漁業者の持つ卓越した海洋生物分類学の分類能力
- スマートフォンに象徴される数理論理思考の旺盛な取り込み
- 「インターネットの海」への進出
- 幅広い世代を横断した数理論理思考の普及、行政の支援
- 南伊勢町内での超生物学の受容、産業利用

# 自治体合併や組織の分割が多発する集落での ケーススタディー

- 南伊勢町そのものが財政悪化を背景に生じた自治体
- 町内の企業、家族では分割や統合はありふれた出来事
- 宗教と科学技術を冷静に検討し、利用する「健康さ」
- 伊勢神宮の隠然たる影響、その行政思想の深い理解
- 「いせのうみ」に対する正しい認識

# 地域の象徴を新たに選ぶ作業への積極参加



伊勢神宮内宮宇治橋前にて

# 「いせのうみ」を生活空間にする南伊勢町の選択



イセガニ *Lithodes aequispina*



### 第三部：

## 地域振興と、新規科学技術・技術基盤としての 超生物学

- 新種記載を通じた地域振興と専門家、団体との関わり方
- 行政支援を通じた異業種交流、とりわけ芸能界、医療業界
- 受け皿としての行政と、タイアップした情報基盤の構成
- 後世に伝える「いせのうみ」と、熊野灘沿岸の環境保全活動

# 新種記載を通じた地域振興と専門家、団体との 関わり方

- 学名や標準和名に地名や郷土の著名な存在を書き込む
- 「文字の海」に浮かぶ象徴としての学名、標準和名
- 「イセエビ」を受けた「イセガニ」に見る国防、国益
- 専門学会、芸能界とタイアップした地域振興のあり方

# 行政支援を通じた異業種交流、とりわけ芸能界、医療業界

- 生物分類学の理論と実際、その行政との共通性、相違点の理解
- 法令基盤の上にある地域情報の運用、機能的に等価な多業種
- みなし物権を鍵概念とした芸能界、医療業界とのタイアップ
- 疾病分類体系の構築、Systema Naturaeの産業応用

# 受け皿としての行政と、タイアップした情報基盤の構成

- 徴税の仕組みに組み込まれた情報の経済循環構築
- 私法と公法の協働、良い意味での公私混同の実現
- 「私人の私権」から発生する「民間の行う公益活動」
- 「みなし取引」と「先渡取引」の共存、情報基盤の豊かさ

# 後世に伝える「いせのうみ」と、熊野灘沿岸の 環境保全活動



# おわりに

- 超生物学の提案とその基盤整備、既存の生物分類学との接続
- 形而上学の変種としての「超生物学」
- 雛形としての超数学（数学基礎論）
- 大枠としてのメタ論理・命題論理
- メタデータベースとして整備されるSystema Naturae

健康な体あつての「寝やんと働き、寝やんと遊ぶ」



# 謝辞

- いつも見守ってくれた両親、弟親子、親族の皆さん
- 山本 桂店長、山本 みさき社長（アクアショップ 夢市場…ドルフィン）
- 東海大学海洋学部、医学部、付属病院の皆様
- 医療法人社団 秦和会 秦野病院の皆様
- 日本全国の漁師さん、水族館マン、地方自治体の皆様
- 親愛なる「うみのいきもの」の皆様